

| | | | |
|---|-------------------------|------|-------|
| 授業科目 微生物学 | 区分・教育内容 | | |
| | 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 | | |
| 授業担当者 非常勤講師（医師） | 開講時期 | 単位 | 時間数 |
| | 前期～中期 | 1 単位 | 30 時間 |
| 授業の目的 一人の人間として、生きる上で役に立つ微生物の知識、感染の成り立ちを学ぶ。 | | | |
| 授業の目標 質問づくりのグループワークを元に、主体的な勉強をしよう。 | | | |
| 授業概要 人間は生きのびるために常に微生物と共存し、また戦い、お互いになくってはならぬ存在として認め合っています。また感染症の成り立ちには、単に微生物側の問題ではなく、その人の免疫力とのせめぎ合いが繰り返されています。毎回、前回の復習をするので、教科書と前回のノートを持ってきてください。 | | | |
| 授業計画(進め方) 1回目 微生物学概論 自己紹介 2回目 細菌Ⅰ グラム陽性球菌 3回目 細菌Ⅱ グラム陰性桿菌 4回目 細菌Ⅲ グラム陽性桿菌 5回目 細菌Ⅳ その他の細菌 6回目 ウイルスⅠ 皮膚症状をきたすウイルス 7回目 ウイルスⅡ 気道、神経、胃腸症状をきたすウイルス 8回目 ウイルスⅢ 肝炎ウイルス 9回目 ウイルスⅣ H I V 10回目 真菌と原虫 11回目 滅菌と消毒 12回目 免疫Ⅰ 自然免疫と獲得免疫 13回目 免疫Ⅱ アレルギー 14回目 免疫Ⅲ ワクチン 15回目 総まとめ | | | |
| テキスト 系統看護学講座 専門基礎 微生物学 医学書院 | | | |
| 参考書・指定図書 講義中に紹介します。 | | | |
| 評価の方法 筆記試験、レポート（私が生まれた日） | | | |

